

オオトリノフンダマシ *Cyrtarachne akirai* Tanikawa

【選定理由】

県内では広く分布するが、生育地の減少に伴い、個体数も減少傾向にある。

【形態】

体長雌 12～13mm、雄 2～2.5mm。頭胸部は褐色。腹部は淡黄色で、長さと同幅、前方両肩は円く隆起して周縁に白い環がある。



犬山市, 2005年7月24日, 須賀瑛文 撮影

【分布の概要】

県内には広く分布する。  
国内では、本州、四国、九州、南西諸島に分布する(新海ほか, 2018)。

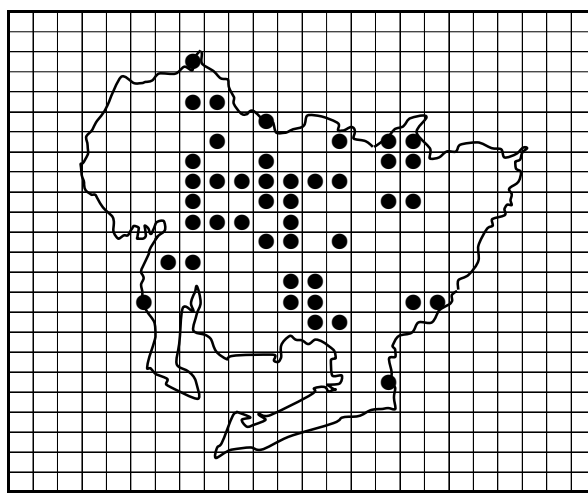
【生息地の環境／生態的特性】

山間部の道沿い、ススキや広葉樹の葉裏に脚を縮めて止まっている。夜になると、大型の同心円状垂直円網を張り、主として蛾の仲間を捕らえる。

【現在の生息状況／減少の要因】

開発等により生息場所が失われることが大きな要因である。ほかに、農薬の影響も考えられる。

県内分布図



【保全上の留意点】

開発の際、ススキ野原や疎林を残し生息環境を確保すること。また、農薬等の散布には十分注意すべきである。

【引用文献】

新海 明・安藤昭久・谷川明男・池田博明・桑田隆生, 2018. CD 日本のクモ. 自刊.

【関連文献】

千国安之輔, 1989. 写真日本クモ類大図鑑. p.82,216. 偕成社, 東京.  
八木沼健夫, 1986. 原色日本クモ類図鑑. p.109. 保育社, 大阪.  
新海栄一, 2006. 日本のクモ. p.228. 文一総合出版, 東京.  
小野展嗣編著, 2009. 日本産クモ類, pp.427,623. 東海大学出版会, 神奈川.  
小野展嗣・緒方清人, 2018. 日本産クモ類 生態図鑑, pp.166,514. 東海大学出版会部, 神奈川.

(緒方清人)